

News Release

株式会社 JVCケンウッド

2026年7月14日

FTSE RussellのESGスコアにおいて、最高評価の5.0を獲得

～ESG投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」に6年連続、
「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」に5年連続で構成銘柄に選定～

株式会社JVCケンウッドは、ロンドン証券取引所グループ傘下のグローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellによる、企業のESGへの取り組みを総合的に評価するESGスコアにおいて、最高評価である5.0（5点満点）を獲得しました。最高評価の獲得は、国内企業では当社を含めて3社のみとなっています。

また、ESG投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に6年連続で、「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に5年連続で、それぞれ選定されています。両指数は、日本の公的年金事業を運営する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）もESG投資のベンチマークとして採用するなど、企業のESGへの取り組みに注目する世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

<当社のサステナビリティへの取り組み>

当社は、企業理念である「感動と安心を世界の人々へ」のもと、「利益ある成長」と「グローバルでの社会課題解決」を両輪とするサステナビリティ経営を推進しています。

ESGの各側面において、温室効果ガス排出量の削減や資源循環の実現、人権リスクへの対応、人的資本経営の推進、コーポレートガバナンスおよびコンプライアンスの強化などに取り組んでいます。2025年度には、役員の業績評価KPIにESG関連指標（エンゲージメント、CO₂排出量削減および外部評価）を追加し、サステナビリティ課題への取り組みを経営評価に反映しています。

また、中期経営計画「VISION2030」においても、サステナビリティ戦略を経営戦略の中核の一つと位置付けており、事業を取り巻く環境の変化を踏まえて5つのマテリアリティを再特定しました。今後、新たにKPIを設定し、達成に向けた継続的なモニタリングを進めていきます。

このたびの選定は、当社のESGの各側面における具体的な取り組みが総合的な評価につながったものと捉えています。当社は今後も、サステナビリティ経営の推進をさらに強化し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

<「FTSE JPX Blossom Japan Index」について>

「FTSE JPX Blossom Japan Index」は、FTSE Russellが構築したESGに主眼を置いた指数で、SDGsを含むESGの対応に優れた日本企業を一定の評価基準に基づいて選定しているものです。

<「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」について>

「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」は、FTSE Russellが構築した指数で、各セクターにおいて相対的にESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映し、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

<関連サイト>

- ・[JVCケンウッド公式ホームページ サステナビリティサイト](#)
- ・[FTSE Blossom インデックス・シリーズ](#)